

## 令和3年度大阪府公立高等学校入学者選抜に関する事項について

### 【1】本校のアドミッションポリシー（求める生徒像）

本校は、生徒一人ひとりが、確かな学力と豊かな人間性を備え、高い志をもって、主体的に高校生活を送ることができる学校をめざしています。

そのために、英語の科目が多く、英語系や文系への進学をめざす英語アドバンスト専門コース、理数系の科目が多く、理数系への進学をめざす理数アドバンスト専門コース、多彩な選択科目を設置し、幅広い進路希望に対応する総合系を設置し、一人ひとりの学力向上と志望する進路実現を図るとともに、多様な活動を通じて生徒の主体性を育み、楽しくかつ鍛える教育を行っています。

高校生活を主体的に取り組む生徒、率先して他者との共同的な取組を実行できる生徒を求めます。

- (1) 2つの専門コースや総合系の学習内容に興味関心を持ち、自ら進んで学業に取り組む生徒
- (2) 挨拶がしっかりとでき、学級活動・部活動・委員会活動等に積極的に取り組むことができる生徒
- (3) 自分を大切にするとともに、他者を思いやることができ、互いの希望進路実現に向け、諦めず、努力することを惜しまない生徒。既に、自己実現に向け取組を始めている生徒。

（参考）アドミッションポリシーとは、学校が求める生徒像、期待する生徒の姿を示したものであり、受験生にとって、志望校を決定する大きな判断材料の一つになるとともに、受験生が、出願時に自己申告書を作成する際に参照するものです。高等学校においては、総合点（学力検査の成績等＋調査書中の評定）等とともに、このアドミッションポリシーに基づいて、受験生の合否を判定することになります。

大阪府公立高等学校入学者選抜制度改善方針から

ボーダーゾーン内の生徒のうち、自己申告書及び調査書の「活動/行動の記録」の記載内容により、高等学校のアドミッションポリシー（求める生徒像）に極めて合致する者を総合点の順位に関わらず優先的に合格とする。

### 【2】本校の「学力検査問題の種類」並びに「学力検査の成績と調査書の評定の比率」

＜一般入学者選抜（全日制の課程）＞

- 学力検査問題の種類

国語、数学、英語 …… B（標準的問題）	社会、理科 …… 共通問題
----------------------	---------------

- 学力検査の成績と調査書の評定の比率

タイプⅢ（学力検査：調査書 = 450点満点：450点満点 = 5：5）
--------------------------------------